



平成 29 年 2 月 14 日

各 位

会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社
代表者名 代表取締役会長 森 捷三
(JASDAQ・コード番号 9610)
問合せ先 執行役員グローバルコーポレート本部 本部長
渡壁 淳司
電話番号 03-6381-0234

業績予想の修正及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 13 日に公表した平成 29 年 3 月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 純利益	1株当たり 純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,700	百万円 180	百万円 180	百万円 90	円 銭 17 46
今回発表予想 (B)	3,450	130	100	20	3 88
増減額 (B-A)	△250	△50	△80	△70	
増減率 (%)	△6.8	△27.8	△44.4	△77.8	
(ご参考) 前年連結実績 平成 28 年 3 月期	3,446	152	152	13	2 67

(2) 修正の理由

- ①グローバルでの売上高は堅調に推移しており、当社単体業績（日本個別の業績）も第 2 四半期まで前年対比を上回っておりましたが、日本での大型顧客の受注納品が翌事業年度への分割受注・納品となったことで、当初見込まれていた連結売上高と連結営業利益の達成が困難となりました。
- ②主にはポンド安による為替差損の影響により、連結経常利益の達成が困難となりました。
※当社が平成 28 年 11 月 11 日に開示した「営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」も参照ください
- ③前述①の大型受注の翌期へのスライドによる影響によって当社単体（日本個別）の営業収益及び経常収益の今期黒字化が困難となる見込みとなったことから、後述の「2. 減損損失の計上について」に記載するとおり、平成 29 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間において特別損失として本社資産等の減損損失を計上するため、親会社株主に帰属する純利益の達成が困難となりました。
- 以上の理由により通期連結業績予想を修正いたします。

2. 減損損失の計上について

前述のとおり、当期において当社単体（日本個別）で営業損失を計上することになり、これに伴い当社単体（日本個別）で4期連続の営業損失を計上することから、当社の保有する固定資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失として34百万円を計上いたしました。その主要内訳は以下のとおりとなります。

(単位：百万円)

内容	減損損失計上額
建物	10.9
建付	7.5
器具備品	0.3
資産除去債務	12.3
リース資産	3.0
個別計	34.2

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以上